

第1回みえの学力向上県民運動推進会議を開催し、セカンドステージの基本方針（案）と、県民力を結集して運動を展開するための効果的な取組について協議しました。

1 日時 平成28年6月30日（木）13時30分～15時00分まで

2 場所 プラザ洞津（津市新町1丁目6-28）

3 内容

（1）会長、副会長の選任

- ・設置要綱に従い、会長に駒田委員、副会長に貝ノ瀬委員が選任されました。



（2）推進会議で出された主な意見

- ・家庭の経済事情に左右されない教育機会の保障という点では、土曜日や放課後を有効に活用していく必要がある。
- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置に伴い、教員の役割分担が明確になり、ひいては資質向上につながるのではないかと。
- ・教育委員会からだけでなく、地域からも声を上げてもらおうとよいが、そのためには今何をしているか情報発信が大切である。
- ・グループでコミュニケーションしながら話すと考えが深まり、整理される。
- ・学校には企業の力をもっと積極的に活用してほしい。
- ・ファーストステージで先生の意識改革が進んだ。
- ・子どもの好奇心にいかにか火をつけることができるか。子どもたちの心を燃やすような働きかけをするのが教育の役割である。
- ・学校はケアの場でなければならない。ケアの場としてきちんと構築されて、子どもが成長できる。
- ・学力向上の更なる前進のためには、学校での授業改善、家庭での基本的な生活習慣の定着と読書が重要である。特に、読書習慣の定着のために県民運動の役割が大きい。
- ・子どもたちが学校や授業についてどう感じているかについて、児童生徒質問紙等を活用し、教育指導に反映させることが大切である。
- ・日本がグローバルエコノミーの中で発展していくためにも、英語教育の果たす役割は重要である。とりわけ、自分の意見をしっかり持って発言できる力、コミュニケーション力を付けることが大切である。
- ・今日の意見を元にして、家庭地域ワーキングで方向性を打ち出して具体的な取組を考えてほしい。
- ・自己肯定感や達成感を子どもたちの心に残すことができたことが今回のサミットの最大の効果であり、こうした教育、人づくりができる三重県にしていきたい。そのためにも学力向上県民運動は大事である。
- ・「教育施策大綱」においても学力向上は重要施策として掲げている。一方で、学校だけではできない。県民を挙げて、家庭・地域を挙げてやらなければならない。
- ・みえの子どもたちが希望を持って、達成感を持って、前に進んでいける県民運動にしていきたい。